

今月の最優秀作品

漢字条幅

夕 中西 緑 お手本をよく学んだ上での、筆勢に富み、流れのよい行意あふれる書き振りが見事。秋の夕景を堂々と表現した。
(選評 春山 圭子)

高天澄遠色

翠 二

かな条幅

湘花 阿部里衣紗 美しい墨色で潤渾も程良く、堂々とした線で迷い無く書きあげた。二行の流れも自然で格調高い作品となった。
(選評 池田 彩雲)

菊の香あけくさくさ
佛たち

ペン

東谷 森山 紗菜 伸びやかで美しい線が魅力的。漢字の結体、仮名と漢字のバランス、紙面に対する余白の取り方、全て良好な秀作。
(選評 平川 恵翔)

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。

東谷

教室

八

段

氏名

森山

紗菜

級

漢字半紙

常山
峻領

二和 土門 里紗

新和様

柳はかすむ
月の影

仁吉 かく

かな半紙

基永法印
石のいそみや、あつたみーかうもん
よさうつてや まるひとけいさうや

羊

六

五十嵐愛未

羊 五十嵐愛未

十分な筆力と運筆の緩急による太細の変化を伸びのある線でおおらかにまとめた臨書作品。この調子でご精進を。
(選評 八尋 光華)

井三 刈屋 仁杏

漢字とひらがなの調和が良くとれて手本に忠実である。字の大小、線の運速、傾斜、墨色の変化あり。特に強い線が魅力的。
(選評 中村 紫泉)

二和 土門 里紗

法帖を良く観察し、鋒先が効いた伸びやかな線で緩急抑揚があり趣きもある。日頃の鍛錬が感じられ満場一致で選出された。
(選評 阿部 湘花)



◆ 今月の優秀作品 ◆

七段 福元 福香 崇山峻嶺	都野山 八相澤 りまう 崇山峻嶺	八挺 廿彩花 崇山峻嶺	羊澤 益十 嵐 愛未 崇山峻嶺	久青 鈴木 藏夫 崇山峻嶺
若林 七 青木 結奈 崇山峻嶺	松浅 八段 西村 住菜 崇山峻嶺	松寿 八 高林 三久 崇山峻嶺	浮羽 準 江田 藍子 崇山峻嶺	佳朋 達也 奥村 凜子 崇山峻嶺
頭城 細井 陽加里 崇山峻嶺	楓 七 美野 輪 琉晴 崇山峻嶺	陽翠 八 北田 孫香 崇山峻嶺	長右 山中 蒼大 崇山峻嶺	嘉津 達也 森山 紗葉 崇山峻嶺
江心 七 田村 一花 崇山峻嶺	福田 新 崇山峻嶺	藏前 八 小椋 結希 崇山峻嶺	翠 四 佐藤 彩花 崇山峻嶺	玄布 上園 希寧 崇山峻嶺
ゆり 七 河村 なるみ 崇山峻嶺	国寺 窪田 優里 崇山峻嶺	玉弥 八 小川 瑚子 崇山峻嶺	夕 八 今井 勇人 崇山峻嶺	東千 畠山 楓佳 崇山峻嶺

今月の優秀作品

三條 尚読書友 四森口美遠	六花山 崇峻山領 府川心香	泰明五 崇峻山領 紙崎心来	分水六 崇峻山領 酒井愛乃音	桂花山 崇峻山領 河野奏
胞山 尚読書友 太田彩暁	西宮四 尚読書友 長瀬瑞希	天應 崇峻山領 松下美緒	の川六 崇峻山領 西希和	横田 崇峻山領 間美緒
曾永四 尚読書友 中村莉歩	野口 尚読書友 梶原那月	祥穂五 崇峻山領 千葉翠	小平六 崇峻山領 山田純彦	せや 崇峻山領 六太庫萌
千雨 尚読書友 大森静空	可書 尚読書友 川本楓花	藩山 崇峻山領 佐々木志帆	文秋 崇峻山領 栗田緒花	OK山 崇峻山領 山平林虹夏
書倫 尚読書友 宇佐美加那	蘭陵 尚読書友 渡邊陽彩	五香 崇峻山領 藤本琴羽	品濃 崇峻山領 高梨蘭乃霞	彩華 崇峻山領 渡部杏菜

紅雁来 大竹 天野千聖	読書尚友 英花加 出原 颯空	読書尚友 紅泉 大戸 麻緒	読書尚友 金子三段 田之岡 幸輝	読書尚友 赤石 高濱 有優
紅雁来 恵那 樋田 彩名	読書尚友 花 波多野 七香	読書尚友 岐七 二久高 乃葵	読書尚友 平泉 三 熊谷 凌太	読書尚友 二松 山口 桃果
紅雁来 藤花 野原 望未	読書尚友 白根 片野 佐那	読書尚友 秋幼 青木 健太	読書尚友 桂書 二 紺野 真友	読書尚友 竹坊 島本 拓真
紅雁来 杏 渡辺 妃南	紅雁来 藤岡 矢野 晃那	読書尚友 月倫二 山口 紗知	読書尚友 加茂二 田浦 凛のん	読書尚友 雲海 相馬 夕佳
紅雁来 玉城 白岩 柁倫	紅雁来 岡山 福永 紗愛	読書尚友 和同 竹内 彩乃	読書尚友 イ・イ・ニ 辻森 結美	読書尚友 園三 柳谷 理香子

関翠
ねねまふ
ふふふふ
ねねまふ
三葉ゆりか

神子
大宅希呼
ねねまふ
ふふふふ
ねねまふ

二 泉明日香
きんれつは
うきで硯
いのまが

福岡八 木田結菜
きんれつは
うきで硯
いのまが

HG 木永澄璃
ねねまふ
ふふふふ
ねねまふ

栄友 上野未織一
ねねまふ
ふふふふ
ねねまふ

曾永二 本島ことは
きんれつは
うきで硯
いのまが

広田 八松岡有希
きんれつは
うきで硯
いのまが

松書
ねねまふ
ふふふふ
ねねまふ
井上楠保子

書芸 岩田晏奈
ねねまふ
ふふふふ
ねねまふ

鈴外 初花 大槻実花
きんれつは
うきで硯
いのまが

顯城 四 細井陽加里
きんれつは
うきで硯
いのまが

望水 緑川友望
ねねまふ
ふふふふ
ねねまふ

広布 上園希寧
ねねまふ
ふふふふ
ねねまふ

恵那 前田月渚
ねねまふ
ふふふふ
ねねまふ

三 森優那
きんれつは
うきで硯
いのまが

高天澄遠色

夏美 公

書友
堀本 夏美

高天澄遠色

幸希 公

游心
秋山 幸希

高天澄遠色

砂羽 公

五香
伊藤 砂羽

高天澄遠色

優衣 公

みず
松丸 優衣

高天澄遠色

虹丸 公

奈良
熊谷 虹丸

読書灯

心奈 公

山本
坂上 心奈

読書灯

夏映 公

あお
小暮 夏映

読書灯

右莉沙 公

仙水
田中杏莉沙

読書灯

ひなた 公

能見
松村ひなた

東千 及川 夏葵

柳にかすむ
月の影
夏葵 かく

陽翠 三善なな花

柳にかすむ
月の影
なな花 かく

恵彰 大森 詩音

蒼き空 椋鳥のなみわさる

書倫 山下 璃夏

蒼き空 椋鳥のなみわさる

大楠 矢ノ口ゆま

菊の香や なみわさる 佛たち

小峯 藤田 真歩

柳にかすむ
月の影
真歩 かく

加茂 藤村 香枝

柳にかすむ
月の影
香枝 かく

秋幼 山崎 理桜

柳にかすむ
月の影
理桜 かく

かか 宇野 友侖

蒼き空 椋鳥のなみわさる

香心 渋谷 凜華

菊の香や なみわさる 佛たち

三条 鈴木 悠翔

柳にかすむ
月の影
悠翔 かく

游心 上原 心愛

柳にかすむ
月の影
心愛 かく

仙水 田中友梨奈

柳にかすむ
月の影
友梨奈 かく

青井 田上 遥翔

柳にかすむ
月の影
遥翔 かく

府六 山川 鈴

柳にかすむ
月の影
鈴 かく

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ、代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
人吉 書 村 本 佳 穂

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ、代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
清月 書 七 中 村 鏡 菜

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ、代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
桂書 書 七 須 藤 奈 々 花

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ、代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
五井 書 七 鈴 木 菜 月

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ、代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
玲水 書 八 藤 岡 真 子

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ、代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
紅旭 書 八 大 島 詩 優

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ、代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
竹花 書 七 楠 亀 珠 季

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ、代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
栗水 書 七 野 う た

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ、代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
佳心 書 八 田 岡 紗 依

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ、代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
上毛 書 八 田 中 悠 愛

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ、代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
福岡 書 八 井 上 悠 奈

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ、代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
書芸 書 八 吉 村 紗 桜 理

稲妻の
砕けて青い
海の上
書芸 赤星 宥実

稲妻の
砕けて青い
海の上
双玉 柔原 橙花

稲妻の
砕けて青い
海の上
野口 梶原 那月

稲妻の
砕けて青い
海の上
五香 加藤 三和子

稲妻の
砕けて青い
海の上
カ石 見玉 心

稲妻の
砕けて青い
海の上
コム 原田 蒼

稲妻の
砕けて青い
海の上
青二 原田 日葵

稲妻の
砕けて青い
海の上
品濃 高梨 楓恋

稲妻の
砕けて青い
海の上
里山 小宮 山りあ

稲妻の
砕けて青い
海の上
有短 笠原 里桜

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
加茂 二 田浦凛のん

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
番桜 三 佐藤珠愛

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
前田 四 段氏上村咲寧

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
青 五 濱田 菜央

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
そら 六 水谷 莉愛

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
風倫 七 久保田 莉央

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
日吉 初 松本彩佳

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
秀景 三 幸平美桜

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
西宮 四 濱田 夏芽

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
国寺 五 粕谷 菜璃

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
OK 大 原口 景弥

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
城北 六 伊保花香

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
里香 初 神戸宥奈

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
大井 二 山口 奈々

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
所三 四 清水 水菜那

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
瑞穂 五 長澤 美空

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
りん 六 鈴木 歩実

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
緑 六 越前 大弥

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
印西 初 山本陽一郎

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
清苑 二 田中優菜

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
可書 三 段氏中 彩鈴

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
二和 五 早坂 美桜

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
浮羽 六 後藤 彩葉

空海は真言宗の開祖でもあり
「弘法大師」の法号を持つ。代表作の
風信帖は、最澄への手紙である。
英花 六 菊澤ひなた

梅島	植竹実央梨
防災	防災
重陽	重陽
稲刈り	稲刈り

書友	堀本夏美
防災	防災
重陽	重陽
稲刈り	稲刈り

江心	田村一花
防災	防災
重陽	重陽
稲刈り	稲刈り

蘭友	熊谷奈子
防災	防災
重陽	重陽
稲刈り	稲刈り

梅島	高木綾子
防災	防災
重陽	重陽
稲刈り	稲刈り

香心	渋谷凛華
防災	防災
重陽	重陽
稲刈り	稲刈り

人二	藤崎杏実果
墨の磨り方は力を入れすぎず、硯面に「の」の字を書く様にする。	

漣	泉明日香
墨の磨り方は力を入れすぎず、硯面に「の」の字を書く様にする。	

稲毛	平尾麻颯
墨の磨り方は力を入れすぎず、硯面に「の」の字を書く様にする。	

白州	慈地彩乃
墨の磨り方は力を入れすぎず、硯面に「の」の字を書く様にする。	

澁山	今野華
墨の磨り方は力を入れすぎず、硯面に「の」の字を書く様にする。	

紅葉	田中愛恵
墨の磨り方は力を入れすぎず、硯面に「の」の字を書く様にする。	

セン	西澤菜希
墨の磨り方は力を入れすぎず、硯面に「の」の字を書く様にする。	

田口	木下榮
墨の磨り方は力を入れすぎず、硯面に「の」の字を書く様にする。	

<漢字一字書>

<平がな一字書>

玉菰

油野 千鶴



そり

外海 咲喜



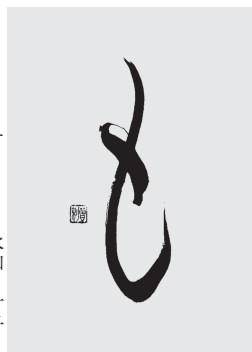
平泉

岩渕 未来



そり

永山 叶子



奈良

森川 喜誠



あい

間仁田 恋桜菜



明代

坂田 日菜



そり

阿部 源也



書友

上原 羅央



月倫

清水 星恋



府六

山川 鈴



露水

松田 夢未



北沢

北澤 咲歩



上絃

八木 夏芽



書友

鈴木あゆ美



紅

畑中 咲希

